

CDA70周年記念イベント講演

ともに生きるためのデザイン

講師／千葉大学名誉教授 共生環境デザイナー 清水忠男氏

2020 2/22 (土) 13:30-16:30 (開場13:00)

会場 国際デザインセンター セミナールーム3

主催／中部デザイン協会 企画／CDA講演・企画委員会
名古屋市中区3-18-1 ナディアパークデザインセンタービル ラボ2
TEL・FAX／052-228-6370 Mail／cda@lily.ocn.ne.jp

協力／株式会社国際デザインセンター

参加費／講演会交流会4,000円(講演会のみ)1,000円

お申込方法／裏面お申込書に、必要事項をご記入の上、2/15までにメール・FAXにてお申込ください。



Nagoya.
UNESCO
City of Design



中部デザイン協会(CDA)70周年記念イベント講演 ともに生きるためのデザイン

2020年2月22日(土) 13:30~16:30 国際デザインセンター セミナールーム3

13:30 **開会の挨拶** 森本理事長

13:35 **講演**

講師/清水忠男氏(千葉大学名誉教授 共生環境デザイナー)

講演テーマ 「共に生きるためのデザイン」

人は一人では生きて行けません。歴史や文化を反映した街や地域や国、さらに世界という広がりの中で、多様な人々とともに支え合って生きています。また、人間だけで生きているわけでもありません。さまざまな生物とともに地球環境の支えのもとで生きているわけです。デザインが人のためのものであるならば、こうした事実を念頭に置く必要があるでしょう。時代の意識の変化を反映して、デザインも、与えられた目的に対する表現上の解というかつての方法論が通用しなくなってきました。どのように目的設定を行ってゆくのか。出発点から仮説の検証まで、さまざまな立場の人々や専門家とともに当事者意識を持って対応して行くことが求められています。さまざまな実施例をご紹介しながら、これからのデザインの方法論を、一緒に考えて行きましょう。

■清水忠男氏 略歴

多摩美術大学卒業、剣持デザイン研究所、Cranbrook Academy of Art 修士課程修了。The Burdick Group、University of Washington美術学部助教授、千葉大学工学部助教授、千葉大学工学部教授。博士(工学・東京大学) 千葉大学名誉教授、デザインスタジオTAD代表を経て本年3月末まで金沢美術工芸大学大学院専任教授。米国工業デザイナーズ協会年間最優秀賞、IAUD賞他国内外での受賞多数。家具や照明器具などの製品デザイン、駅舎・広場などの環境デザイン、地域活性化支援活動他。著書・訳書として「行動・文化とデザイン」「ふれあい空間のデザイン」(SD選書)「環境をデザインする」「高齢化と製品環境」他。



親と子が一緒に本を読む椅子



多様な人々が協働栽培を楽しめるレイズドプランター

15:15 **セッション1**

テーマ 「現場から発想し、連携し、未来につなげる」

清水忠男氏×宇賀敏夫氏 中部デザイン協会参与(元理事長)

司会/和田真爾(副理事長、講演・講習会委員長)

セッション2

宇賀敏夫氏 中部デザイン協会参与による活動経歴の自己紹介

■宇賀敏夫氏 略歴

専門分野=インテリアプロダクトデザイン 略歴=千葉大学工業短期大学 木材工芸科卒業。名古屋工業大学大学院都市環境システム工学博士課程修了 博士(工学)授与。東洋プライウッド(株)、愛知棚開発部を経て、有UGAデザインプランニング開設。元愛知文教女子短大デザインアート学科教授、元名古屋市立大学芸術工学部非常勤講師、元名古屋芸術大学デザイン学部非常勤講師、第17回世界インテリアデザイン会議事務局長、JIDAPOイタリアデザイン研究員。現在までGマーク6点受賞。中部デザイン協会参与、国際デザインセンターデザインアドバイザー、日本インテリア学会名誉会員、JID名誉会員、CIP名誉会員。



JR 武蔵境駅

15:50 **質疑応答**

16:15 **閉会の挨拶** 細川理事

17:00 **交流会** 講師と聴講者および参加会員を交えた交流懇親会 会場/レストラン宙

参加申込書 必要事項にご記入の上、2/15までにFAXまたはメール、Webからお申込ください。

FAX/052-228-6370 Mail/cda@lily.ocn.ne.jp Web/https://www.cda.ne.jp

お申込書	<input type="checkbox"/> 講演会交流会 4,000円	<input type="checkbox"/> 講演会のみ1,000円
所属団体・企業・学校名		
お名前(複数記入可)		
ご連絡先	電話	Mail